

分析機器部門講習会シリーズ

CRISPR/Cas9によるゲノム編集の原理と 最新実験フローのご紹介 ～ CRISPRはvectorからproteinの時代へ～

要旨：

ゲノム編集技術は、細胞ゲノム内の基本的にどの位置においても遺伝子のノックアウト、または外来遺伝子をノックインできる技術です。この遺伝子の改変は1塩基レベルから染色体レベルで行うことが可能です。かつ、生物種を選ばず、動物細胞、魚類、植物、昆虫などほぼすべての生物で利用できる魅力があることから、生命科学研究の潮流を変えるとさえ言われています。

本セミナーでは、ゲノム編集の代表的ツールであるCRISPR/Cas9システムの原理から最適なツールの選択方法、実際の実験操作に沿った内容でのワークフローをご紹介します。ターゲット配列のデザインやノックインベクターの設計方法、また、変異が導入された細胞を検出し評価する方法等、ゲノム編集実験を導入するにあたり研究者の方々からの要望の多い内容を中心に話し致します。

皆さまのご利用可能な技術となるよう、今後のご研究のお役に立つ情報をご提供できればと存じます。新しいライフサイエンス研究時代の幕開けをもたらすといわれるゲノム編集。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 : 平成28年7月7日(木) 14:00～15:30

場 所 : 医系研究棟3号館4階実習室

定 員 : 25名程度

申込期間 : 平成28年7月1日(金)まで

申込方法 : 電子メールで、subjectを「**BID**」として、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 伊藤 (内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)